

学びの広場

各種施設での事業（その7）

今回は「湯の沢児童センター」で行われている事業の様子を、湯の沢自治会長の原野廣太さんに伺いました。

湯の沢自治会は、昭和58年に発足し、今年で30年目を迎え、現在130世帯の中規模の自治会です。活動の拠点となる児童センターは、団地が造成された当時、管理者の事務所として使用していた建物を寄贈されたもので、湯の沢の歴史が刻まれています。

湯の沢児童センター

児童センターでは、新年会、町民体育行事の反省会、囲碁会、お茶会、若葉会（老人会）、書道教室、クリスマス会などが開催され、地域の交流場所となっています。

また、平成4年度には町の生涯学習モデル地区に選ばれ、その交付金で、インディアカとバドミントンのネットを購入し、ポールは自分たちで設計、工事を行い立派なコートを作り上げました。



歴史が刻まれた児童センター

発足時からインディアカクラブ

インディアカクラブは、毎週月・金曜日の午前に児童センター下のグラウンドで練習しています。晴天の日は、太陽が目に入らず、気持ちよく汗を流しています。厳寒の時期でも5分もすると一枚、二枚と上着を脱いでいきます。メンバーには、80歳過ぎの女性も在籍し、若い人に優るとも劣らないパワーで練習しています（手加減無用！）。練習の後は、座敷に上がっての軽いお茶会が恒例となっています。



気持ちのよい汗をかいています

定期的開催しています

◇バランスボール（毎週木曜日の午前）
健康な体づくりを目標に、古館輝美さんのご指導により、直径55cmの柔らかいボールを使って行うストレッチ体操です。

◇囲碁会（毎週火曜日の午後）
西橋和夫さんのご指導により、楽しい中にも熱戦が展開されています。時には持参したお酒で軽く反省会も……。
◇おしゃべり輪投げの会
（毎月第2土曜日の午後）

2月に開催された町老連体育行事の輪投げ大会では、日頃の成果が出て、湯の沢が一位、二位、三位を独占しました。



見事なフォームで百発百中！

秋のウォーキングと石焼き芋の会

毎年11月に自治会と若葉会共催でウォーキングを行っています。児童センターから八沢の林道を通って八沢集会所付近まで、往復3.6kmの紅葉路を歩きます。昼ごろ帰着し、おにぎり、豚汁、飲み物、若葉会得意の石焼き芋をごちそうになれます。昨年度は、大人・子ども・幼児で70人ほどの参加がありました。



歩いた後のお楽しみ「石焼き芋」

バイオマスの講演会

町民文化センターで実施された講演会「地球に優しい環境を目指して」を、湯の沢でも開催したいという希望があり、湯の沢住の古館信生さんを講師に講演会を開きました。

エネルギー源として注目される有機性の資源「バイオマス」。今まで新聞やテレビで報道されても意味が分からず、無関心でしたが、講演会後は興味を持つことができました。その後、数人で勉強会を開き、山北町の水力発電所の見学に出掛けました。



講師の話熱心に聞きました

「歩いてみよう松田の歴史」発行

松田町文化財保護委員の皆さんのご尽力により「歩いてみよう松田の歴史」（写真）を発刊することができました。委員の皆さんが実際に歩き、協議・精選した4コースです。「文化財マップ」を片手に、松田の歴史に思いをはせて歩いていただければ幸いです。A5判52ページ（200円で町図書館で販売中）。
問い合わせは、同図書館へ ☎（83）7024。



文化財マップ

●4コースを歩き松田の歴史に思いをはせて

《松田城址コース》～戦国の松田に思いをはせて～（歩行時間約150分 距離約10km）

小田急新松田駅 → 桜観音 → 大蔵院 → 松田城址 → 西平畑公園 → 延命寺 → 新松田駅

《酒匂川の氾濫と治水・利水コース》～酒匂川との共生の歴史をさぐる～（歩行時間約60分 距離約3.9km）

JR松田駅(北口) → 二宮尊徳誕生地道標 → 寒田神社 → 十文字橋 → 川音川サイホン入口 → 店屋場堤 → 三角土手 → JR松田駅(南口)

《矢倉沢往還コース》～青山街道本道争いの道をしのぶ～（歩行時間約120分 距離約8km）

小田急新松田駅 → 三角土手 → 町屋 → 清水 → 神山神社 → 下茶屋の道標 → 河内・大門通り → 御殿場線・矢倉沢踏切跡 → 十文字橋 → 新松田駅

《寄地区社寺巡りコース》～山里の旧跡を歩く～（歩行時間約70分 距離約5km）

小田急新松田駅 ⇒ バス(札場) → 福昌院 → 寄神社 → 旧源守院跡 → 大寺観音堂 → 高根神社 → バス(田代向) ⇒ 新松田駅

(参考)はなじよろ道コース

小田急新松田駅 ⇒ バス(田代向) → 虫沢 → はなじよろ道入り口 → ヒネゴ沢乗越 → 八丁 ⇒ タクシーなど(JR山北駅)

